

村にもある近代化産業遺産の探索！

深山に残された溶鉱炉 ロウ石山を訪ねる！

明治以降、日本の近代化が進む中で、大正に入ると孺恋村にも規模の大きな硫黄採掘鉱山がいくつも開業しました。そして耐火材としても有望なロウ石も見つかかり、またその近くには鉄鉱石も採掘に到り、ここ干俣地区は空前の賑わいを見せ、日本の近代化に大きく貢献した時代がありました。

今回、奇跡的に山深くに残されたロウ石山の2基の溶鉱炉を見学し、その歴史的な価値を学ぶ学習会を初めて開催します。知られざる地域の近代化遺産を学び、伝えていきましょう。案内はロウ石山の調査をしてきた下谷通さんです。たくさんの参加をお待ちしています。

8月8日(水) 現地 学習会

集合場所： 干俣親水公園駐車場 9：00

(トイレのあるところです)

参加費： 一人 500 円

(主に資料等作成費です)

※保険は掛けていませんので、自己責任でご参加ください。

対象者： 干俣地区に居住する人及び関係者
浅間・吾妻エコツーリズム協会会員
およびその知人

説明者： 下谷 通氏 (同エコツーリズム協会講師)



【日程】

集合 9：00 干俣親水公園受付
＝ 出発 9：15 開催者挨拶
―― 徒歩 ―― 10：00 ろう石鉱山跡地現地説明会
＝ 11：30
―― 徒歩 ―― 着 12：30 予定 親水公園着

【注意事項】

- 鉱山跡地は国有地内です。ごみは必ず持ち帰ってください。
- 地内はすべて禁煙です。ペットの連れ込みはできません。
- 草や木を折ったり、取ったりしないでください。

※今回の現地学習会には群馬 TV の取材が同行する予定です。

問合せ・参加申込み・・・浅間・吾妻エコツーリズム協会代表 赤木道紘 (080・5655・3009)
または、下谷 通 (090・8642・9959) まで。 8月6日までにどうぞ。